

Unilever

プラスチックがごみにならない未来へ —ユニリーバの取り組み—

2026/1/21

ユニリーバ・ジャパン株式会社
Japan B&W package manager
山本 さや香

ユニリーバについて

世界最大級の消費財メーカー



190カ国以上
34億人が毎日製品を使用

PURPOSE

BRIGHTEN
EVERYDAY LIFE
FOR ALL
輝く毎日をすべての人に

日本では1964年（昭和39年）から事業展開



OUR STRATEGY : Our Growth Action Plan 2030

パーパス：輝く毎日をすべての人に

目標：市場をけん引する上質で魅力的なブランドで、最高峰のパフォーマンスを提供する

STRATEGY

フォーカスする
30のパワーブランド
24のトップマーケット

高める
上質で魅力的なブランド
ソーシャルファーストの需要創出
スケールアップ可能なイノベーション
プレミアム化
将来性のある流通チャネル

加速する
サイエンス&テクノロジー
無駄がなく臨機応変なサプライチェーン
純生産性
大規模なAIの活用

SUSTAINABILITY

Climate
気候
実質ゼロ排出を目指す

Nature
自然
レジリエントな
再生エコシステム

Plastics
プラスチック
プラスチックがゴミにならない
未来への取り組み

Livelihoods
生活水準の向上
ユニリーバのバリューチェーンに関わる
人々の生活水準の向上

CULTURE

Values
パイオニア精神
尊敬
誠実さ
責任感

People
ベストなタレント
インクルーシブなリーダー
真のダイバーシティ
最高にエンゲージされた状態

Behaviours
Care deeply : 心からケアする
Focus on what counts : 重要なことに専念する
Stay three steps ahead : 3歩先をいく
Deliver with excellence : 卓越した成果を届ける

サステナビリティの目標

気候変動

2039年までにバリューチェーン全体でネットゼロを実現する



- 100%** 2030年までに事業活動からの温室効果ガス排出量(スコープ1および2)を**100%削減**する
(2015年比 絶対量)
- 42%** 2030年までにスコープ3のエネルギーおよび産業からの温室効果ガス排出量*を**42%削減**する
(2021年比、絶対量)
- 30%** 2030年までにスコープ3の森林、土地、農業 (FLAG) からの温室効果ガス排出量**を**30.3%削減**する
(2021年比、絶対量)

自然

自然環境と農業生態系のレジリエンスと再生力を高める



- 95%** 2030年までに主要作物の**95%**を持続可能な調達の裏付けが取れたものにする
- 1M** 2030年までに**100万ヘクタール**の農地で再生型農業を実践する
- 1M** 2030年までに**100万ヘクタール**の自然生態系の保護と回復を支援する
- Zero** 森林減少の原因となるコモディティにおいて**森林破壊ゼロ**を継続する
- 100** 2030年までに水不足地域の**100か所**で水管理プログラムを実施する

プラスチック

使用量削減、資源循環、協働を通してプラスチック汚染を終わらせる



- 40%** 非再生プラスチックの使用量を2026年までに**30%**、2028年までに**40%**削減する (2019年比)
- 100%** プラスチックパッケージを**100%再利用可能**、リサイクル可能、または堆肥化可能にする (硬包装は2030年まで、軟包装は2035年までに実現)
- 25%** 2025年までに使用するプラスチックの**25%**を再生プラスチックにする
- By 2025** 2025年までに販売する量よりも多くのプラスチックパッケージを回収・再生する

生活水準

生活賃金の保障も含めてバリューチェーンに関わる人々が適切な生活水準を保てるようにする



- 50%** 2026年までに当社のサプライヤーの**50%** (支出金額ベース) から生活賃金の保障について署名を得る
- 250K** 2026年までにサプライチェーン内の**25万人**の小規模農家が生活水準向上のためのプログラムにアクセスできるよう支援する
- 2.5m** 2026年までにリテールバリューチェーン内の中小企業 **250万社**の事業拡大を支援する

気候・自然基金へ10億ユーロを投資して支援します

人権およびエクイティ、ダイバーシティ、インクルージョンへのコミットメントを事業の基盤として継続します

*購入した物品・サービス (原料、パッケージ関連) のエネルギー・燃料関連の排出、上流の輸送・配送、販売した製品の使用 (ハイドロフルオロカーボン (HFC) 冷媒)、販売した製品の廃棄、下流のリース資産 (アイスクリームの小売キャビネット)

**購入する物品およびサービス (原材料関連) 由来のFLAG排出量

プラスチック



長期目標

使用量削減、資源循環、協働を通して
プラスチック汚染を終わらせる



目標

非再生プラスチックの使用量を
2026年までに30%、2028年までに40%削減する (2019年比)

プラスチックパッケージを**100%再利用可能、リサイクル可能、
または堆肥化可能にする** (硬包装は2030年まで、軟包装は2035年までに実現)

2025年までに使用するプラスチックの25%を再生プラスチックにする

2025年までに販売する量よりも多くのプラスチックパッケージを回収・再生する



プラス
チック

日本での主要な取り組み

Unilever

プラスチックの 使用量削減



プラスチックの使用量
2019年と比べて
27.7%*削減

*2024年12月末時点

再生プラスチック への切替



ほぼすべてのPET製ボトルを
rPETへと切替済
rPEを順次導入中

リサイクル適性を向上 させた容器の展開



ポリオレフィン単一素材の
つめかえパウチを展開

使用済みプラスチック容器 の回収・再生



UMILE、みんなで
ボトルリサイクルプロジェクト
を実施

プラスチックの使用量削減

近年の取り組みの具体例

Unilever



ラックスヘアマスク
つめかえパウチの展開
プラスチック使用量
約86%削減*

*本体容器のプラスチック量との比較



ドメストボトル重量減
プラスチック使用量
約10%削減



Cif クリーンブースト スプレー
濃縮タイプつめかえの展開
プラスチック使用量
約73%削減*

*本体容器のプラスチック量との比較

再生プラスチックへの切り替え

近年の取り組みの具体例

Unilever



ラックススーパーリッチシャイン/ネクサス
シャンプー・コンディショナー
ボトル内層に100%*再生材を使用



ラックスバイオフィュージョン
シャンプー・コンディショナーボトル
内容器に100%*再生材を使用



ダヴボディウォッシュ
発酵&ビューティシリーズ
ボトルに100%*再生材を使用

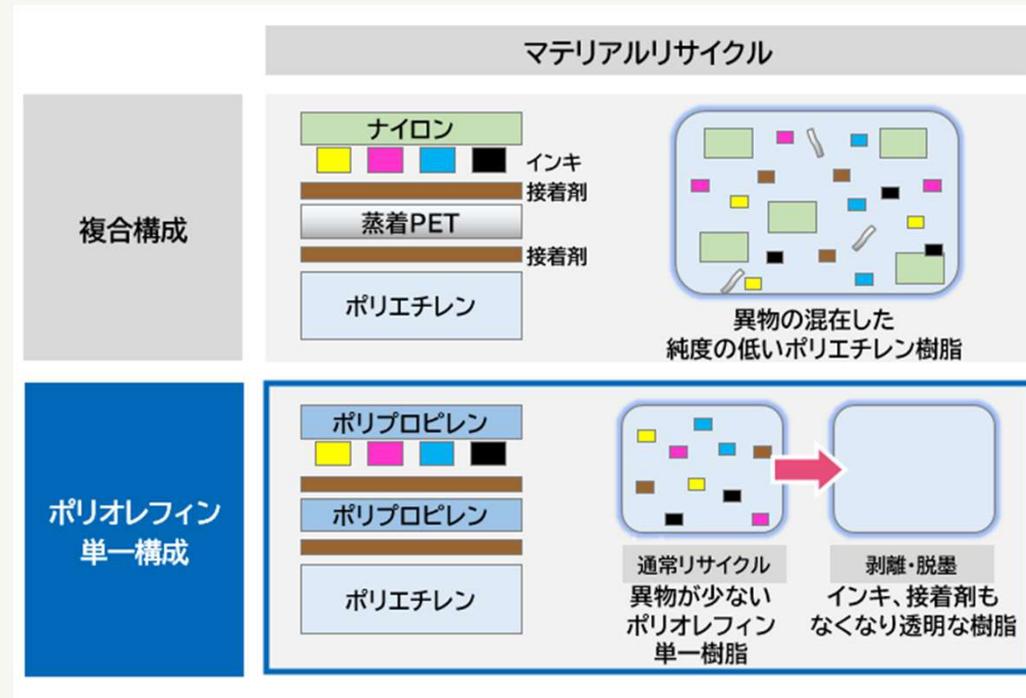
*着色料・添加材を除く

Sustainability Re-focused

リサイクル適性を向上させた容器の展開



近年の取り組みの具体例



ダヴ クリーミー泡洗顔料シリーズ つめかえ用に
ポリオレフィン単一素材でリサイクル適性を向上させたつめかえパウチを採用

使用済みプラスチック容器の回収・再生

みんなでボトルリサイクルプロジェクト

プロジェクトの目的

1. 消費者・行政・企業の連携による、日用品容器の分別回収・リサイクルの仕組みを検討
2. 回収した使用済み容器を活用し、ボトル容器からボトル容器への水平リサイクル技術を検証

参加企業（2026年1月時点）



Unilever



Unilever

Thank you!